

日本水道協会の 災害対応について

名古屋市上下水道局
総務部主幹

日本水道協会とは

設立目的

水道の普及とその健全な発達を図ること

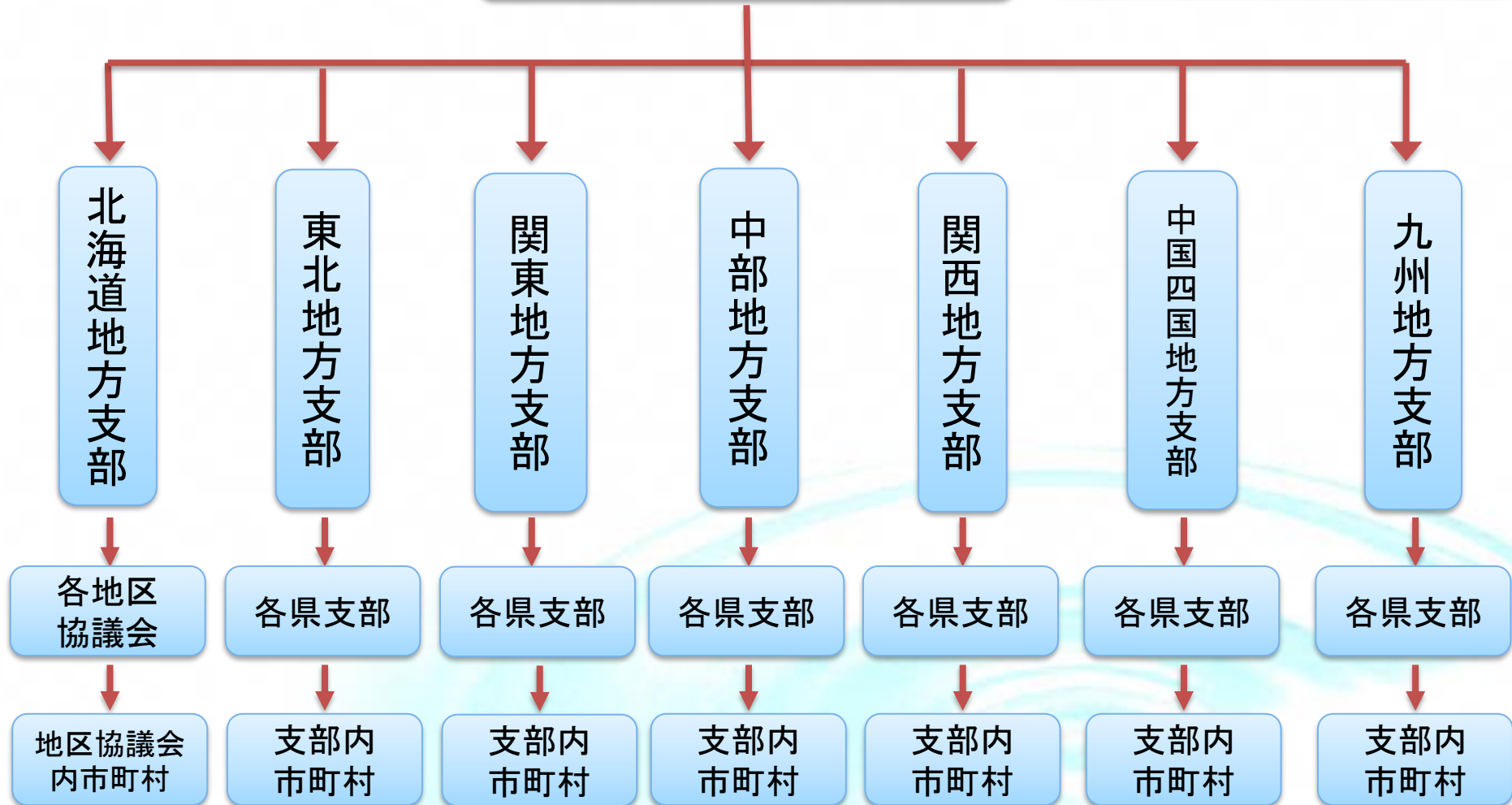
事業内容

- ・ 政府等への請願、建議等
- ・ 水道用品の規格に関する検査、品質認証
- ・ 水道に関する諸般の広報、調査研究
- ・ 地震等災害発生時における応急給水復旧の
広域相互応援に係る連絡調整
- ・ 総会、全国会議、講習会、研修会等の開催

日本水道協会の組織

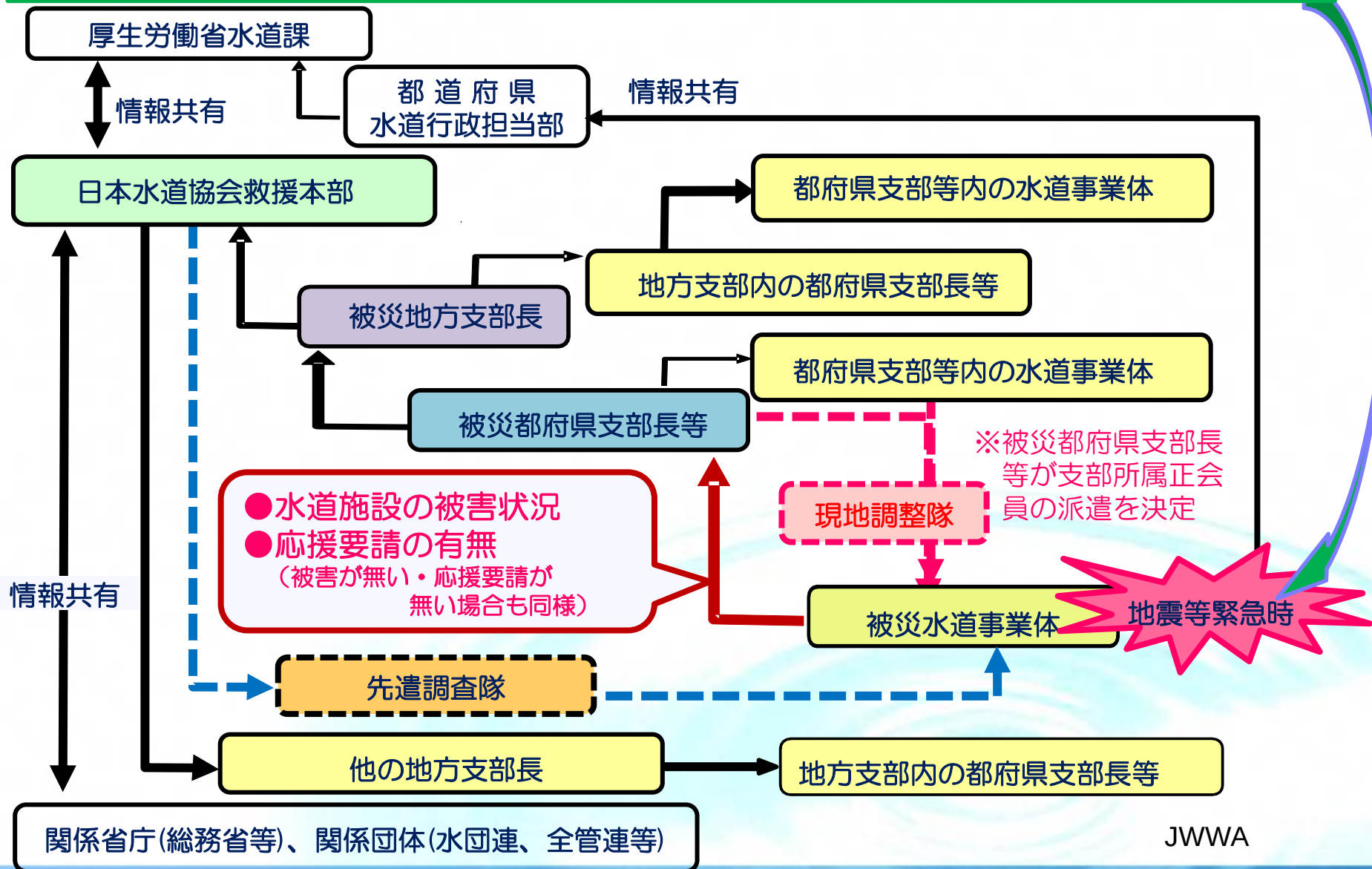
日本水道協会 本部

正会員 1,337団体
(地方公共団体・法人)等



災害発生時の情報連絡の流れ

(震度5(弱)以上の地震)または(その他の自然災害及び事故等により大規模な断水が発生)した場合



応援準備態勢の段階区分

【地震】

段階	発令の時期	態勢
注意態勢	震度5(弱)の地震が発生したとき	情報収集及び連絡を主として行うが、状況により更に高度な配備に迅速に移行し得る態勢とする。
警戒態勢	震度5(強)の地震が発生したとき	情報収集及び連絡を行うとともに、被災水道事業体の要請に応じて出動できる態勢とする。
非常態勢	震度6(弱)以上の地震が発生したとき	情報収集及び連絡を密に行うとともに、応援体制の準備完了後、被災水道事業体の要請に応じて直ちに出動できる態勢とする。

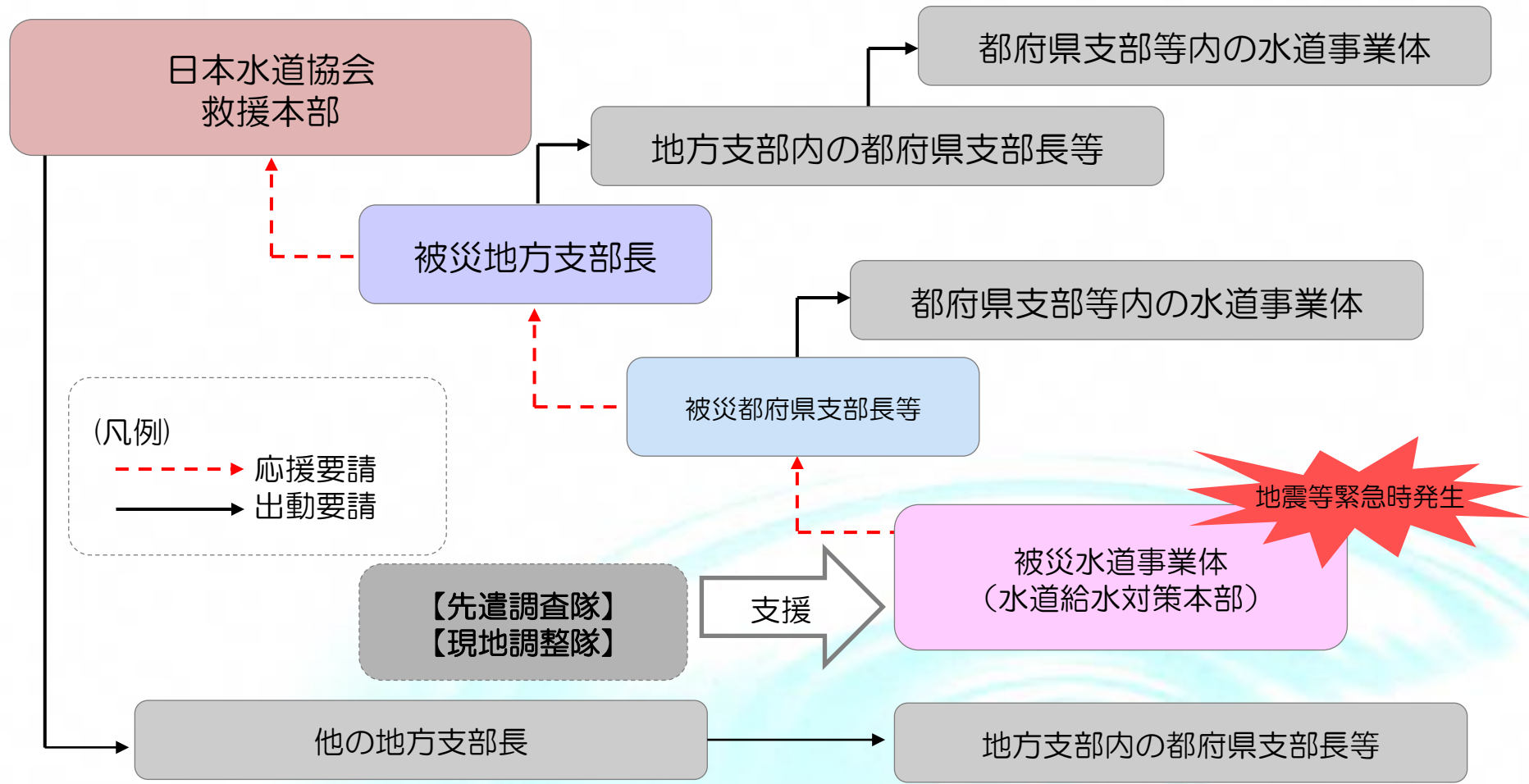
【その他災害】

- 津波・大雨・大雪等において気象庁から特別警報が発表された場合など、災害が現に発生し又は発生するおそれがある場合は、上記区分に準じて準備態勢を整える

JWWA

応援要請の流れ

《手引き P9～10》



JWWA

➤ 応援の種類

- 応急給水活動（給水車の派遣）
- 応急復旧活動（応急復旧に従事する職員の派遣等）
- 技術的支援（施設の復旧等に関わる技術的助言に関する支援）
- 応急給水・応急復旧に必要な物資・資機材等の提供
- その他必要な事項

応援の初動体制

現地調整隊

連携

先遣調査隊

広域調整隊

(日本水道協会救援本部)

被災水道事業体における応援受け入れ体制の確立に当たり、調整支援が必要となると判断される場合、被災事業体と協議の上、被災都府県支部長等の決定により被災水道事業体へ派遣される調整隊。

なお、被災都府県支部等内において派遣が困難な場合は、被災地方支部長が決定し、さらに、被災地方支部内において派遣が困難な場合は、日本水道協会救援本部が派遣を決定する。

震度6(強)以上の地震又はその他の災害・事故等において、日本水道協会救援本部長が必要と判断した場合、日本水道協会救援対策本部から被災水道事業体へ派遣される調査隊。

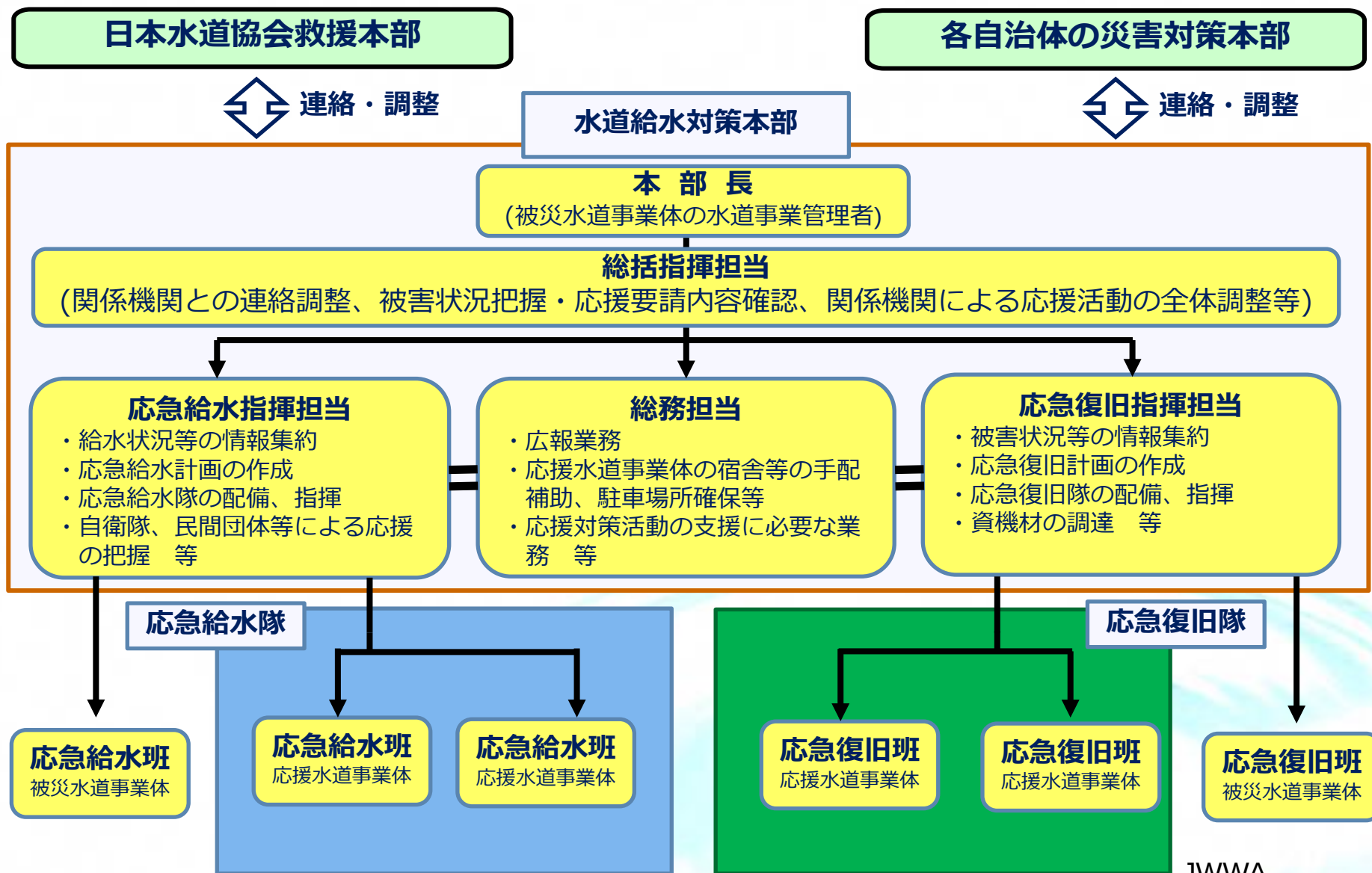
(救援本部からの派遣が困難な場合は地方支部長に依頼)

早期に現地の被害状況を把握し、関係者との情報共有を図ることにより、その後の円滑な応援体制の確立に寄与するための役割を担う。

地震等緊急時において、大規模な応援活動が必要になると日本水道協会本部長が判断した場合、被災地における広域的な応援体制を確立しその活動を補助・調整するため、日本水道協会救援本部から広域的な連絡調整を行える場所(例:被災地方支部長都市又は被災都府県支部長都市など)に派遣される調整隊。

水道給水対策本部の組織例

《手引き P20》



JWWA

概念図：応急給水(拠点給水方式)



仮設給水栓①
(地上式消火栓)



仮設給水栓②
(地下式消火栓)

概念図：応急給水(巡回給水方式)

(簡易容器による直接配布)



給水袋



(リュック型)

給水袋



(手提げ型)

ポリタンク



応急給水の様子

応急給水に並ぶ長蛇の列
(R元 9/10 千葉県東金市役所)



※令和元年房総半島台風 日本水道新聞社

応援水道事業者による応急給水活動
(R元 9/11 千葉県君津市内)



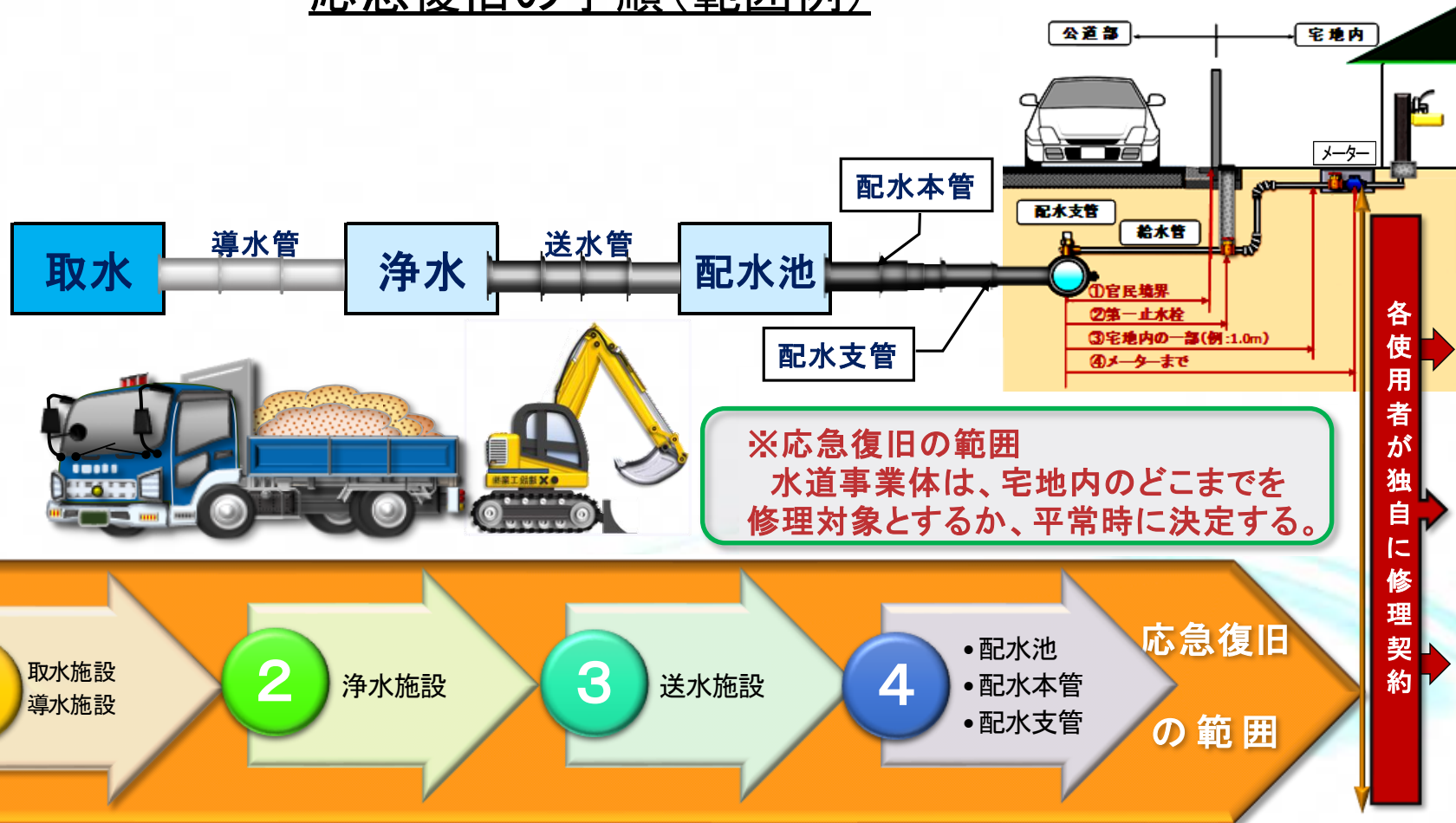
※令和元年房総半島台風 日本水道新聞社

JWWA

応急復旧

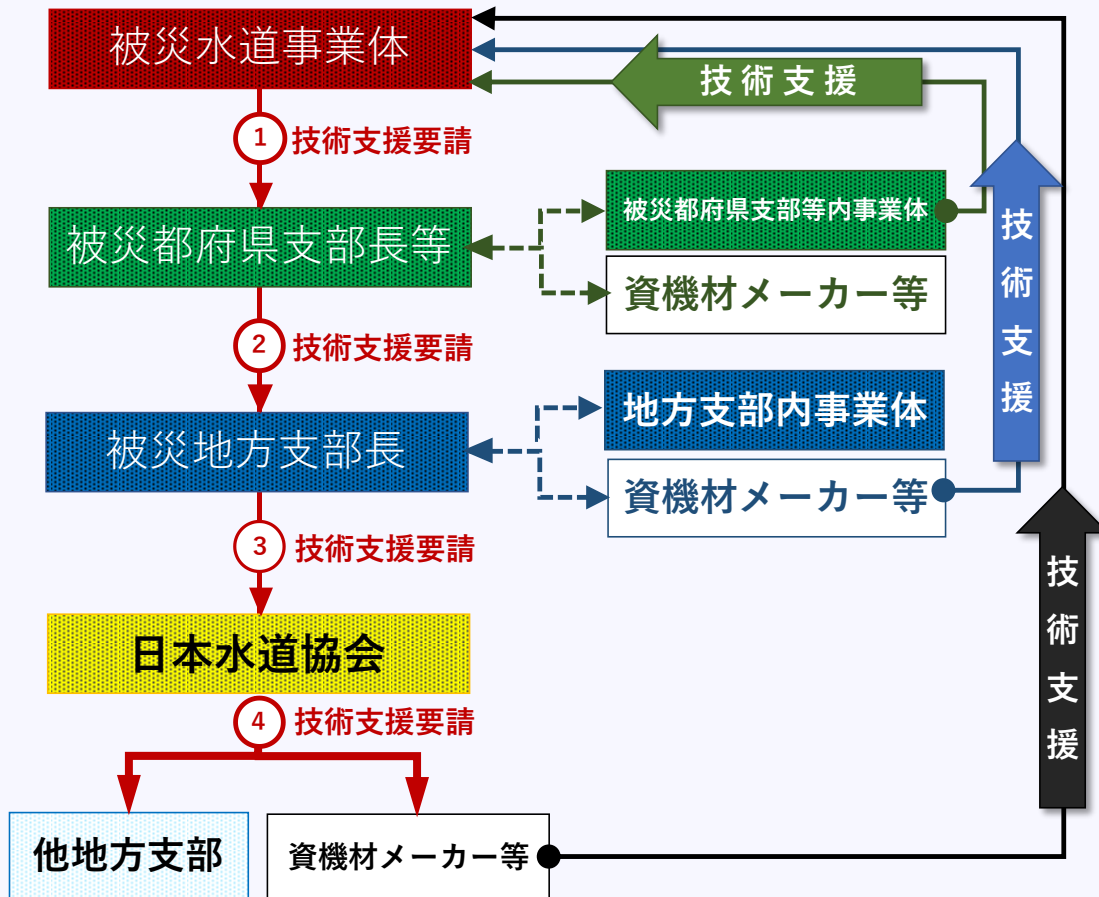
応急復旧の手順(範囲例)

※配水管復旧に影響を及ぼす
給水管の修理範囲 (例)



技術支援

技術支援フロー



技術支援の事例

- (1) 水運用計画の策定
- (2) 仮設浄水装置等設置計画
- (3) 機械・電気設備 計画
- (4) 漏水調査(管洗浄)
- (5) 水質検査
- (6) 災害査定補助

ご清聴ありがとうございました。